

本校の生徒4名が、愛知県と名古屋大学が主催する 「高校生防災セミナー」に参加しました

令和6年度高大連携高校生防災教育推進事業「高校生防災セミナー」に本校生徒4名が参加しました。災害時の学校や地域の防災力向上に貢献できる防災リーダーの育成を目的とし、7月24日と12月26日の2日にわたり、講話とワークショップ・ディスカッション、発表等が行われました。

本校では、セミナー受講者が中心となり、以下の3つの活動を実施しました。

- 1 総務防災委員による、消火器と防火シャッターの定期点検
消火器が所定の場所に置かれているか、防火シャッターの下に物が置かれていないかを点検し、火災に備えるとともに防災意識を高める目的で実施しています。
- 2 第2回防災訓練での防災クイズ「地震編」及び保護者も含めた安否情報訓練(9月2日)
セミナー受講者がクイズを作成し、各クラスで総務防災委員が解説を行い、生徒全員の防災に対する知識と意識の向上を目指しました。
- 3 災害時の簡易トイレの使い方講習会(11月15日)
セミナー受講者が、総務防災委員と教員(希望者)を対象に、災害時のトイレの重要性と設置・使用・処理の方法を講習しました。

このセミナーで学んだことを生かし、来年度以降も生徒・保護者の防災意識の向上に努めていきたいと思えます。



災害時の簡易トイレの使い方講習会の様子